

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

研究課題名:『日本人小児腎移植患者における糸球体濾過量推算式の検証:イヌリンクリアランス法による実測糸球体濾過量との比較』

研究機関名: 東邦大学医療センター大森病院

研究責任者: 腎センター

職位・氏名: 講師・橋本淳也

【研究の目的】

本邦小児の腎機能は血清クレアチニン値から算出される推定糸球体濾過量で評価できることが知られています。しかしながら、この推定糸球体濾過量が、小児腎移植患者においても正しく移植腎機能を反映しているかは十分な検証がなされていません。

そこで、東邦大学医療センター大森病院腎センターでは、小児腎移植患者さんの推定糸球体濾過量とイヌリンクリアランスによって求められた実測の糸球体濾過量を比較して、推定糸球体濾過量の妥当性を検証することを目的として本研究を計画しました。

この研究で得られる成果は、小児腎移植患者さんの移植腎機能を正しく評価し、治療に反映させることにつながります。

【研究対象および方法】

この研究は、(東邦大学医療センター大森病院)倫理委員会の承認を得て実施するものです。

対象者: 2017年8月-2018年12月に東邦大学医療センター大森病院腎センターにおいて、イヌリンクリアランスにより糸球体濾過量を測定した2～18歳の小児腎移植患者さん24人(のべ31計測)を対象とします。

方法: 診療録(カルテ)から抽出したデータを解析します。

【研究に用いられる試料・情報】

情報: イヌリンクリアランスにより測定した糸球体濾過量、血清クレアチニン値などに基づいて算出した推定糸球体濾過量、移植時の情報、移植後の管理、腎移植後の臨床経過など

【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院 腎センター

職位・氏名 講師・橋本淳也

電話 03-3762-4151 内線 6757